



# こころ 駒通信

第1号

2011.10.31  
発行

内容 ▶▶▶

- ＊ 発刊のごあいさつ
- ＊ 外来のご案内
- ＊ 病棟などの紹介
- ＊ お知らせ

## 外来のご案内

### 外来診療表

H23.11.1~

	月	火	水	木	金
初診	吉本(隆)	富永	柿田	長澤	松田
再診	長澤 松田 富永	樋掛 柿田 吉本(隆)	長澤 松田	藤原 吉本(隆) 富永	藤原 柿田 吉本(美) 吉田 (第2・4週午後)
児童精神科	吉本(美) PM		吉本(美) AM初診のみ	岩崎 石川	石川 AM初診のみ

【診療科】..... 精神

【診療日】..... 月~金曜日

【休診日】..... 土・日・祝日、年末年始(12月29日~1月3日)  
但し、救急の場合はこの限りではありません。

【アルコール依存症外来】..... アルコール・薬物依存症を対象としており、  
初診診療日は、原則として、月・水曜日になります。

【児童精神科外来】..... 情緒障がい・摂食障がい・統合失調症・不登校など  
中学生以下のこころの問題が対象です。



### 初診の予約について

平成23年8月1日より、初診予約制を導入しました。

【対象者】..... 初診の方すべて(救急を除く)

【予約受付】..... 「初診予約電話」☎0265-83-4156

【受付日時】..... 診療日の10時から15時まで



## お知らせ

### 看護職員の募集

~地域にひらかれた病院づくりに、あなたの力を発揮してみませんか!~

看護職員採用選考を右記日程で実施予定です。

詳しくはお気軽に 長野県立病院機構 採用担当

☎0120-173-314または

当院 看護部長 篠原/事務部次長 原山 までご連絡ください。

会場	長野市・名古屋市	長野市(予定)
試験日	平成23年12月17日(土)	平成24年3月10日(土)
応募受付期間	~平成23年11月30日(水)	平成23年12月1日(木) ~平成24年2月24日(金)

### 長野県精神科救急情報センター「りんどう」のお知らせ

緊急に精神科医療・相談が必要になったときのため、  
精神科救急情報センター(当院内に設置)では、24時間365日、電話相談を行っています。

はい きゅうきゅう  
専用☎0265-81-9900

- 【ご注意】
1. かかりつけの精神科医療機関があれば、まず主治医にご相談ください。
  2. 身体症状(外傷、大量服薬、意識障がい、感染症など)がある場合は、119番へ。
  3. 日常的な精神保健福祉に関する相談については、保健福祉事務所、長野市保健所、市町村、精神保健福祉センターへご相談ください。

地域の明日を医療で支える  
地方独立行政法人 長野県立病院機構

### 長野県立こころの医療センター駒ヶ根

〒399-4101 長野県駒ヶ根市下平2901

TEL 0265-83-3181(代表) FAX 0265-83-4158

☎komagane@pref-nagano-hosp.jp

http://www.pref-nagano-hosp.jp/komahosp/homepage



## 風が流れ 光あふれる 癒しの空間

### 発刊のごあいさつ

平成23年1月から新病院での診療がスタートし、名称も「こころの医療センター駒ヶ根」と心機一転しました。英語名では、Mental Wellness Center Komaganeです。そのため精神科病院への敷居が低くなり、初診患者さまが増えました。新しく生まれたニーズに対応するために、8月1日より、初診予約制(救急を除く)を導入しました。あらかじめ地域連携室に連絡していただくことにより、スムーズな外来診療をめざします。全ケースではありませんが、コメディカルスタッフによるインテーク面接も開始しています。

長野県の精神科中核病院として、精神科救急医療や専門医療(依存症、児童精神科、医療観察法)の確立に力を注いでいます。しかし、病床数を129床と大幅に減らして機能集約化したので、他の医療機関や福祉施設、支援センター、保健所、福祉事務所等との連携協力をなくしては、当センターは機能を発揮できません。外部機関にも協力をお願いして、毎日、支援会議を開催しています。

まだ 期工事(デイケア、体育館等)が続いており、外来駐車場については、患者さまに大変ご迷惑をおかけしています。当センターのモットーは「ひらかれた病院づくり」ですが、さらに「改築(改革)し続ける病院」でもありたいとも考えています。12月には電子カルテを導入して、さらなる機能強化をはかる予定です。

挨拶とは、もとは「オシツオサレツ」という意味だそうですが、新しい広報誌が当センターから情報を発信し、また外からの声を受信する絶好の場所になれば良いと考えていますので、よろしくお願い申し上げます。



院長 樋掛 忠彦



### 基本理念

1. 私たちは、質の高い専門医療の提供に努めます。
2. 私たちは、患者さまの人権を尊重し、信頼される医療サービスを提供します。
3. 私たちは、明るく思いやりのある病院づくりに努めます。



児童精神科病棟がスタートする等、病棟構成が変わりました。  
各病棟の特色などをご紹介します。

**A1  
病棟**  
15床

平成23年1月から児童精神科の病棟がスタートしました。  
こころの問題を抱える中学生以下が対象です。

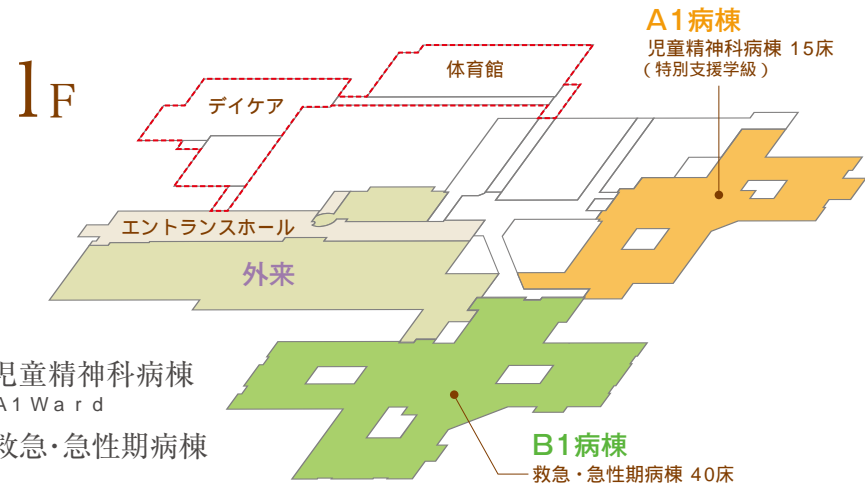
入院を決めるにあたり病棟見学をしていただいています。入院中は病棟の決まりを守り、病棟の日課に合わせて生活を送っていただいています。  
また、子どもたちを取り巻く家庭・学校・地域との連携を密にと考え、支援会議を重視しています。院内学級が開設されており、学習の機会が確保されています。

**スタッフより**

病棟は、「治療の場」とともに「子どもを育てる場」という機能があります。子どもが安心して治療・生活ができるよう安全な環境の提供を心掛けています。  
病棟行事・園芸・料理などを通し、子どもと一緒に学んだり、遊んだりの体験を共にすることで、子どもが自分の行動を変化させる援助をしています。  
また、多職種チームが関わることによってそれぞれ違った角度から子どもを観察・把握するとともに、情報を共有する中で個別性と集団生活に適應できるよう治療の方向性を検討しながら関わっています。



A1 病棟師長



**設計コンセプト**

精神科の治療に  
ふさわしい  
療養環境の創造  
患者さまの個性の尊重  
豊富な居場所づくり  
リハビリテーションの場  
多様な治療空間  
心を癒すための空間



**B1  
病棟**  
40床

スーパー救急病棟として  
早期の退院を目指して治療・看護を行っています。

入院期・休息期・退院期とそれぞれの状態に合わせたパスを用いて患者さまと一緒に目標を立てて達成できるように援助します。  
作業療法や服薬ミーティング、うつ病教室などに参加する中で患者さまが自分の病気について理解を深め再発を防ぐことができるよう援助しております。

また、退院後の生活がスムーズに進むよう、ご家族や地域の関係者と各時期に支援会議を開き、退院支援をしています。



**スタッフより**

病棟の新築によって個室を主体として治療環境が整ったことから、一層治療に専念できるようになりました。こころの健康を少しでも取り戻していただくため、患者さまの気持ちに寄りそえるよう各スタッフが日夜努力しています。



B1 病棟師長

**外来**



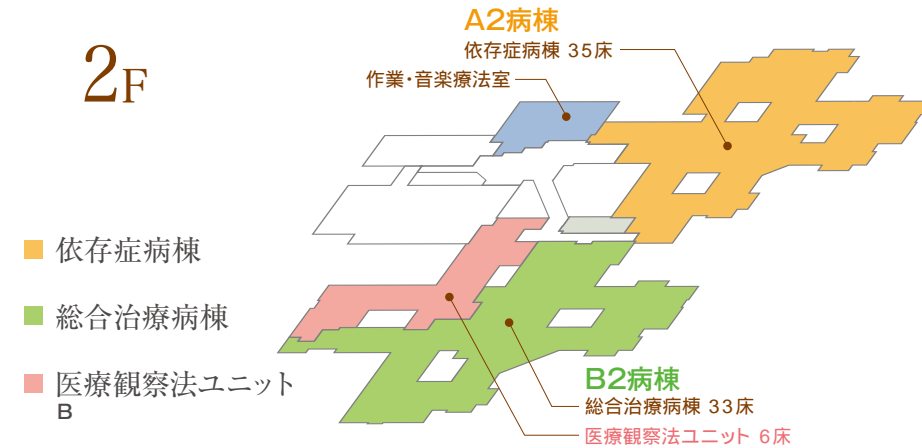
**外来スタッフより**

外来には毎日140人ほどの患者さまが来院されます。慌ただしい状況であっても、一人ひとりの患者さまの表情や病状に気を配り、きめ細やかな対応を心掛けていきます。  
気になる症状、人間関係の悩み、生活上の問題などお気軽にご相談ください。一緒に悩み、考えることで患者さまのこころの癒しになれるよう努力しています。



外来師長

**2F**



**改築スケジュール**

第1期工事[病棟・本館棟]  
H21.10～H22.12  
新病棟での診療開始  
H23.1～  
第2期工事[体育館・デイケア棟]  
H23.1～H24.3(予定)  
写真はH23.10.24現在です。



**A2  
病棟**  
35床

アルコール依存症の治療専門病棟として平成5年にスタートし  
平成23年度からは薬物依存症の治療も開始しました。

アルコールや薬物による依存症は、病気であるという自覚と治そうとする意欲があれば適切な治療によって回復することができます。

患者さまだけでなく、ご家族や周囲の方々が病気を正しく理解することも重要なポイントになります。

治療プログラムに基づき、一人ひとりの個性を重視し、多職種チームで関わることで心身の健康を取り戻し、断酒・断薬をめざしていただけるよう支援をします。治療の基本はアルコールは2～3ヶ月の入院、薬物は1ヶ月の入院と外来1ヶ月のプログラムに基づいておこないます。

**スタッフより**

安心して治療の出来る環境を提供し、多職種チームで回復を見守り、自立を促す関わりを心掛けております。



A2 病棟師長

**B2  
病棟**  
33床

総合治療病棟として、社会復帰困難な患者さまに対して  
治療を提供しています。

社会復帰にあたっては、精神保健福祉士や外来訪問看護師、地域の関係機関と連携しながら退院促進に取り組んでいます。また、入院患者さまに対しては作業療法や音楽療法など様々なグループ活動を行っています。

なお、医療観察法に基づく医療観察法ユニット(BFユニット6床)が併設されており、社会復帰に向けた治療をおこなっています。



**スタッフより**

支援会議や多職種による会議などを開催し、一人でも多くの患者さまが早期に社会復帰できるように、連携を密にしながら努力していきます。



B2 病棟師長